

神のみこころ

(土曜日——午前の第二の部)

メッセージ 5

神のみこころ——わたしたちの聖別

聖書：ヘブル 2:10-11. 12:10, 14. エペソ 1:4-5. 5:26.

I テサロニケ 4:3 前半. 5:23-24. ヨハネ 17:17

- I. 神のみこころは、わたしたちの聖別です。聖別されることは、聖とされることです。聖とされることは、神へと分離され、聖なる方としての神をもって、すなわち俗であるあらゆるものと異なり、区別されている方をもって浸透されることです——I テサロニケ 4:3 前半. I ペテロ 1:15-16. エペソ 1:4-5. 5:25-27。
- II. エペソ第1章4節から5節とヘブル第2章10節から11節は、聖別が子たる身分のためであることを示しています。実は、聖別は神の「息子化すること」です：
- A. わたしたちは永遠の過去において、「聖く……なるようにと……子たる身分へと [のために、あるいは、という結果になるよう]」選ばれました——エペソ 1:4-5. 啓 21:2, 9-11。
- B. 復活したキリストは、わたしたちの救いのキャプテンであり、多くの子たちを聖別することによって、彼らを栄光へ導き入れます——ヘブル 2:10-11。
- III. 聖書における聖別には三つの面があります：
- A. 神に選ばれた人が悔い改め、信じる前に、その霊が彼らを捜し求める聖別があります——I ペテロ 1:2。
- B. 信者たちが信じる時に、キリストの血による地位上の聖別があります——ヘブル 13:12. 9:13-14. 10:29。
- C. 信者たちのクリスチャン生活の全行程において、その霊の性情の聖別があります——I テサロニケ 5:23-24. ローマ 15:16 後半. 6:19, 22. 参照、5:10. 啓 22:14. II ペテロ 1:4。
- IV. 神聖な子たる身分のための神聖な聖別は、神聖なエコノミーの中心であり、新約の啓示の中心思想です：
- A. 神聖な聖別は、神聖なエコノミーを完成することを保持する線であり、わたしたちを神聖に息子化し、神の子たちとならせます。それはわたしたちが神の命と性質において（しかし神の神格においてではない）神と同じになり、神の表現となるためです。
- B. わたしたちが、聖別は保持する線であると言うのは、わたしたちに対する神の働きのあるあらゆる段階が、わたしたちを聖とすることであるからです——ヨハネ 17:17. エペソ 5:26-27. I コリント 6:11. 12:3 後半. ヘブル 12:4-14. ローマ 8:28-29. エペソ 4:30. I テサロニケ 5:19. 啓 2:7 前半. 詩 73:16-17, 25-26：
1. 捜し求める聖別、すなわち初期の聖別は、わたしたちを悔い改めさせて、神に連れ戻します——I ペテロ 1:2. ルカ 15:8-10, 17-21. ヨハネ 16:8-11。
2. 贖う聖別、すなわち地位上の聖別は、キリストの血によってであり、わたしたちをアダムからキリストに移します——ヘブル 13:12。

3. 再生する聖別、すなわち性情の聖別の開始は、わたしたちの霊からわたしたちを更新し、罪人であるわたしたちを神の子たち（神聖な命と性質を持つ新創造）とならせます——ヨハネ 1:12-13. II コリント 5:17. ガラテヤ 6:15。
 4. 更新する聖別、すなわち性情の聖別の継続は、わたしたちの魂を、わたしたちの思いからわたしたちの魂のすべての部分まで更新して、わたしたちの魂を神の新創造の一部分とならせます——ローマ 12:2 後半. 6:4. 7:6. エペソ 4:23. エゼキエル 36:26-27. II コリント 4:16-18。
 5. 造り変える聖別、すなわち日ごとの聖別は、わたしたちをキリストの要素で新陳代謝的に再構成し、わたしたちをキリストの有機的なからだの一部分としての新しい構成とならせます——I コリント 3:12. II コリント 3:18。
 6. 同形化する聖別、すなわち形づくる聖別は、わたしたちを栄光のキリストのかたちに形づくり、キリストの表現とならせます——ローマ 8:29。
 7. 栄光化する聖別、すなわち究極的に完成する聖別は、わたしたちの体を変貌させることによってわたしたちの体を贖い、わたしたちを栄光の中で完全にキリストの表現とならせます——ピリピ 3:21. ローマ 8:23。
- C. 神聖な、性情の聖別は、わたしたちの霊の中の聖別する霊としてのキリストによって遂行されます——15:16 後半. 8:4。

V. わたしたちは召会生活のための聖なる生活を生きるために、主がわたしたちの心を堅固し、聖別の中で責められるところのないものにしてくださる必要があります——I テサロニケ 3:13 :

- A. わたしたちの心は、わたしたちの魂の各部分である思い、感情、意志（マタイ 9:4. ヘブル 4:12. ヨハネ 14:1. 16:22. 使徒 11:23）と、わたしたちの霊の一部分である良心とから成っています（ヘブル 10:22. I ヨハネ 3:20）。
- B. 心は、命の入り口と出口であり、命の「スイッチ」です。もし心が正しくなければ、霊の中の命は妨げられ、命の法則は自由に妨げなしに働くことができず、わたしたちの存在の各部分に到達することができません。命は大きな力を持っていますが、この大きな力はわたしたちの小さな心によって制御されます——箴 4:23. マタイ 12:33-37. 参照、エゼキエル 36:26-27。
- C. 神は変わることはない方です。しかし、わたしたちの天然の誕生によれば、人との関係においても主との関係においても、わたしたちの心は変わりやすいのです——参照、II テモテ 4:10. マタイ 13:18-23。
- D. 天然の、人の命によれば、心が確固としている人は一人もいません。わたしたちの心はとても容易に変わるので、それは全く信頼に値しません——エレミヤ 17:9-10. 13:23。
- E. わたしたちの心が責められるのは、それが変わりやすいからです。変わることはない心は、責められるところのない心です——詩 57:7. 108:1. 112:7。
- F. 神の救いにおいては、心が更新されることは一度限りのことです。しかしながら、わたしたちの経験においては、わたしたちの心は絶えず更新されます。なぜなら、それは変わりやすいからです——エゼキエル 36:26. II コリント 4:16。
- G. わたしたちの心は変わりやすいので、聖別する霊によって絶えず更新される必要が

あります。それによってわたしたちの心は、聖とされ、神へと分離され、神によって占有され、神によって所有され、神で浸透される状況の中で、堅固にされ、建て上げられることができます——テトス 3:5. ローマ 6:19, 22. II コリント 3:16-18. マタイ 5:8. 詩 51:10-12。

- H. わたしたちの心が、聖別する霊の絶え間のない更新によって、堅固にされ、聖別の中で責められるところのないものになりつつあるとき、わたしたちは神聖な命の新しいさを持つ新エルサレムになりつつあり、また神聖な性質の聖を持つ聖なる都になりつつあります——啓 21:2. I ヨハネ 5:11-12. II ペテロ 1:4。

VI. 「平和の神ご自身が、あなたがたを徹底的に聖別し、あなたがたの霊と魂と体とを守って、わたしたちの主イエス・キリストの来臨の時に、完全で責められるところのない者にしてくださいませように。あなたがたを召す方は信実であり、彼はまたそれを行なってくださいませ」—— I テサロニケ 5:23-24 :

- A. 平和の神は聖別する方です。彼の聖別は平和をもたらします。わたしたちは内側から彼によって完全に聖別される時、あらゆる面で神に対しても、人に対しても平和を持ちます—— 23, 13 節. II テサロニケ 3:16。
- B. 神はわたしたちを聖別することを願っており、わたしたちが進んで聖としての彼を追い求め、彼と協力する限り、彼ご自身がそれを行なってくださいませ。このようにして、神が聖であるように、わたしたちは聖となります (I ペテロ 1:15-16)。聖別がなければ、わたしたちは神を見ることはできません (ヘブル 12:14)。
- C. 神はわたしたちを聖別することによって、わたしたちの霊、魂、体の本質においてわたしたちを造り変え、わたしたちを性質において完全に彼のようにならせませ。このようにして、彼はわたしたちの霊、魂、体を完全に守ります—— I テサロニケ 5:23 :
1. 墮落を通して、わたしたちの体は損なわれ、わたしたちの魂は汚され、わたしたちの霊は死にました。神の満ち満ちた救いにおいて、わたしたちの全存在は救われ、完全にされ、完べきにされませ。
 2. このことのために、神はわたしたちの霊をあらゆる死の要素から守り (ヘブル 9:14)、わたしたちの魂を天自然的で古いままであることから守り (マタイ 16:24-26)、わたしたちの体を罪の腐敗から守っています (I テサロニケ 4:4. ローマ 6:6)。
 3. そのように神が守ることと徹底的に聖別することは、わたしたちが聖なる生活をするように保持し、円熟へと至らせませ。それはわたしたちが主の来臨の時に主に会うためです。
 4. 量の面では、神はわたしたちを徹底的に聖別ませ。質の面では、神はわたしたちを完全に守ります。すなわち、わたしたちの霊、魂、体を完べきにませ。
 5. 神はわたしたちを守りますが、わたしたちは責任を負い、率先して神の活動と協力し、わたしたちの霊、魂、体を聖霊の浸透の中に保つことによって守られるようにする必要があります—— I テサロニケ 5:12-24。

VII. わたしたちは神と協力して、聖別の中でわたしたちの霊を守るために、わたしたちの霊を活用することによって、わたしたちの霊を生きた状態に保たなければなりません—— I テモテ 4:6-7 :

A. わたしたちは、わたしたちの霊を守るために、わたしたちの霊を活用して神と交わりを持つことによって、わたしたちの霊を生き生きとしたものに保たなければなりません。もしわたしたちがこのようにわたしたちの霊を活用しないなら、わたしたちの霊を死んだ状態の中にとどめておくこととなります——Ⅱテモテ 1:6-7. 参照、19 節：

1. 喜び、祈り、感謝することは、わたしたちの霊を活用することです。わたしたちの霊を守ることは、まずわたしたちの霊を活用して、わたしたちの霊を生き生きとしたものに保ち、わたしたちの霊を死の中から引き出すことです——Ⅰテサロニケ 5:16-18。
2. わたしたちは聖別する神と協力して、霊を死なせる状況から分離される必要があります——参照、民 6:6-8. Ⅱコリント 5:4。
3. わたしたちは、わたしたちの霊の中で、わたしたちの霊をもって、神を礼拝し、神に仕え、神と交わりを持たなければなりません。わたしたちであるすべて、わたしたちが持っているすべて、わたしたちが神に対して行なうすべては、わたしたちの霊の中になければなりません——ヨハネ 4:24. ローマ 1:9. ピリピ 2:1。

B. わたしたちは、わたしたちの霊を守るために、それをあらゆる汚れと汚染から守る必要があります——Ⅱコリント 7:1。

C. わたしたちは、わたしたち霊を守るために、神と人に対してとがめのない良心を持つとうと自分自身を訓練しなければなりません——使徒 24:16. ローマ 9:1. 参照、8:16。

D. わたしたちは、わたしたちの霊を守るために、わたしたちの霊に注意を払い、思いを霊に付け、霊の中の安息を顧慮しなければなりません——マラキ 2:15-16. ローマ 8:6. Ⅱコリント 2:13。

VIII. わたしたちは神と協力して、聖別の中でわたしたちの魂を守るために、わたしたちの心理上の心の三つの主要な「動脈」、すなわち、わたしたちの魂の各部分であるわたしたちの思い、感情、意志を清めなければなりません——参照、詩 43:4. ネヘミヤ 8:10. Ⅰヨハネ 1:4. エレミヤ 15:16：

A. わたしたちの魂が聖別されるために、わたしたちの思いは、新しくされてキリストの思いとならなければならず（ローマ 12:2）、わたしたちの感情は、キリストの愛で触れられ浸透されなければならず（エペソ 3:17, 19）、わたしたちの意志は、復活したキリストで征服され注入されなければならず（ピリピ 2:13. 参照、雅 4:4 前半. 7:4 前半）、わたしたちは自分の全存在をもって主を愛さなければなりません（マルコ 12:30）。

B. わたしたちの心理上の心の三つの主要な動脈を詰まらせているものを取り除く方法は、主に対して徹底的な告白をすることです。わたしたちは一定の時間、主の御前にとどまって、わたしたちを完全に光の中にもたらしてくださるよう主に求める必要があります。そして、彼が暴露してくださる事の光の中で、わたしたちは自分の欠点、失敗、敗北、誤り、悪事、罪を告白する必要があります——Ⅰヨハネ 1:5-9：

1. わたしたちの思いという動脈を詰まらせているものを取り除くために、わたしたちは自分の思想や考え方において罪深いすべての事を告白する必要があります。
2. わたしたちの意志という動脈を詰まらせているものを取り除くために、わたした

ちは自分の意志の中にある反逆の病原菌を告白する必要があります。

3. わたしたちの感情という動脈を詰まらせているものを取り除くために、わたしたちは自分の喜びや悲しみを表す方法が天然的であり、肉的でさえあること、また多くの時わたしたちは愛すべきものを憎み、憎むべきものを愛していることを、告白する必要があります——参照、啓 2:4, 6。
4. もしわたしたちが必要な時間を費やして、わたしたちの心理上の心の三つの主要な動脈を詰まらせているものを取り除くなら、わたしたちは自分の全存在が生き生きとして、とても健康な状態にあるという感覚を持つでしょう。

IX. わたしたちは神と協力して、聖別の中でわたしたちの体を守るために、わたしたちの体を彼にささげなければなりません。それはわたしたちが召会生活のための聖なる生活をし、からだの生活を実行して、神の完全なみこころを遂行するためです——ローマ 12:1-2. I テサロニケ 4:4. 5:18 :

- A. わたしたちの墮落した体、すなわち肉は、サタンと罪と死の「集会所」です。しかし、キリストの贖いによって、また父、子、霊の「集会所」である再生された霊の中で、わたしたちの体はキリストの肢体であり、また聖霊の宮です——ローマ 6:6, 12, 14. 7:11, 17-25. 8:2-3. I コリント 6:15, 19。
- B. わたしたちの体を守ることは、わたしたちの体において神の栄光を現すことです—— 20 節。
- C. わたしたちの体を守ることは、わたしたちの体においてキリストを大きく表現することです——ピリピ 1:20。
- D. わたしたちの体を守るために、わたしたちは自分の魂、古い人にしたがって生活してはなりません。そうすれば、罪の体は失業し、解雇されます——ローマ 6:6。
- E. わたしたちの体を守るために、わたしたちは自分の体をどんな罪深いものにもささげてはなりません。かえってわたしたち自身を義の奴隷としてささげ、わたしたちの肢体を義の武器としてささげなければなりません—— 13, 18-19, 22 節. I テサロニケ 4:3-5。
- F. わたしたちの体を守るために、わたしたちはそれを打ちたたき、それを奴隷とならせ、わたしたちの聖なる目的を成就し、聖なる都とならなければなりません—— I コリント 9:27. 啓 21:2。